祝卒業！「三池百年」の誇りを胸に

高校70回生新会員 198名　卒業生総数 34,153名

発行所
三池高等学校同窓会
事務局／三池高校内
〒837-0917　大牟田市草木245
TEL 0944-57-2600
URL http://miikeob.net/
発行人／永利新一
印刷所／大洋印刷

編集委員
高27回
吉田　眞理・井上　佳純
高28回
松岡　浩也・古賀　昭子
高43回
別城　久弥・大野　哲義
高44回
北島　康彦・矢野　智子
竹下由美子・田中　智子

卒業記念号

次の一〇〇年に向けて 新しく、力強く

同窓会会長　永利　新一（高12回）

母校も昨年は百周年の記念すべき年を迎えました。改めて歴史の重みを感じます。卒業生も3万4千人を超え、各界各層で幾多の人材を輩出し、輝かしい歴史と伝統が築かれています。

しかし、戦後七十年以上経ち環境も大きく変化し、大牟田市の人口も21万人から11万人に減少し、少子高齢化で生徒数も激減し、小学校・中学校・高等学校の統廃合が進み、母校をとりまく地域の状況も大きく変化しています。

同窓会としてもこの現実をしっかりと受け止め、百周年を契機に学校、父母教師会、生徒会ともよく話し合い、次の時代の母校をどう方向づけるか決めていかなければならない大切な時です。

百周年事業も五年以上の歳月をかけ、多くの関係者の御協力で、主たる行事である記念式典やパネルディスカッション、祝賀会を終えたほか、大同窓会、櫪友美術展、記念碑の建立、記念誌の発行と盛りだくさんの事業を行ってきました。

募金活動も多くの方々のご協力を得て7千万円を超える額となりましたが、これからの母校発展の為に活用させて頂きます。最初は百周年事業も、同窓会館の改築等を主に記念行事と同時期にと考えていましたが、学校の校舎や体育館自体も古くなり、本年度大規模改築の準備もはじまるとのことで、それを待ってからの工事となりました。また多くの同窓生の方から、最近三池高校の進学、スポーツ、文化活動の力が落ちているとの指摘も受け、改築等の資金は基金として残し、奨学資金の充実などを図ることで、これからの学校発展に寄与したいと考えています。

同窓会の目的は会員の親睦と融和を図るとともに、互いに切磋琢磨して人生を雄々しく生き抜き、後輩である在校生や未来の三池高校生を支援することで、母校発展に寄与することだと思います。

時代の流れを素直に、的確に捉え、柔軟かつ創造的に対応していくことが何より肝要です。今こそ、次の一〇〇年に向けて新しく、力強く、次の一歩を踏み出しましょう。

世紀の祝典を起点に、次代に確かな一歩を

校長　西田　智（高32回）

三池中学校・三池高等学校同窓会の皆様におかれましては、日頃より心温まるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。また現今、同窓会活動の基幹ともなっております三池奨学会に対しましても、全国の同窓各位よりご厚志を間断なく頂戴しており、深甚なる謝意を表するところです。今春の卒業生も三池奨学会等による同窓会の皆様のご支援のもと、落ち着き充実した学校生活を送ることができたと考えております。何卒、今後も変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、この佳節に高校第七十回卒業生百九十八名を同窓会に加えていただくこととなりました。この七十回生は、生徒定員が五クラスとなって初めての卒業生であり、また入学時から学校創立百周年を最高学年で迎えることが運命づけられた生徒諸君でした。百周年を意識し求めて入学してきた生徒も多く、三年前はとても心強く感じたことを記憶しております。その後も三高生としての自覚を深めつつ、先輩後輩との絆を固くして、百周年記念事業を大いなる成果をもって着実に成し遂げてくれました。

なかでも、昨秋十一月十八日に挙行いたしました創立百周年記念式典における誉れ高き三高健児の姿こそが、三池百年を慶祝する極致であったのではないかと思います。多数のご来賓より三高生の気高い姿勢と優れた資質に賞賛の言葉が寄せられ、同窓会や父母教師会の皆様方にもお喜びいただくことができました。これも、今次卒業の高校七十回生が、七十一、七十二回生の後輩を良く導き共に歩んで、三池の伝統を継承して百周年の重責を見事に果たしたことによるものであり、心から敬意を表したいと思います。

歴年の先輩方と同様、櫪ヶ丘にて文武両道を歩んだ七十回生は、百周年を担った経験を糧として、今後も本県内外にて活躍してくれるものと期待しております。郷土を離れる本校卒業生に対しましては、関東、関西、福岡、熊本の各櫪友会の会合等を通じて同窓生の先輩方との交流をお願い申し上げる次第です。

最後になりましたが、一昨年来の創立百周年記念事業に係る募金にご協力いただき誠に有難うございました。記念事業の同窓会館改修については、熊本地震、九州北部豪雨と続いた自然災害の影響により、また校舎大規模改修事業の開始によりまして、今後慎重に進めていく運びとなっております。百周年記念事業の成果と継続を通じて、次代に向けて確かな一歩を進めるべく、同窓生の皆様方のご期待に応えられるよう魅力発信に努めて参ります。引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会へのご寄付のお礼

高校27・43回総会当番回御一同様より

218,066円

以上の浄財をいただきました。ありがとうございます。

平成29年度　三池中学・三池高校同窓会総会　決算

平成29年8月12日（土）於：ホテルニューガイア オームタガーデン

収入

費目	金額	内訳
総会準備金	200,000	同窓会本部より
チケット売上代	6,345,000	幹事回売上、評議員売上、当日売上等　1269枚
広告料	400,000	27回幹事20口、43回幹事20口
祝儀金	95,000	来賓の方からお祝い
収入計	7,040,000	

支出

費目	金額	内訳
総会・懇親会費	4,619,678	料理・酒代・会場使用料　他
印刷費	430,852	チケット・ポスター印刷代、しおり印刷代 他
広告費	52,400	新聞広告2社
櫪友会参加費	432,000	関東・関西・福岡・熊本
通信費	58,840	郵送・ハガキ・切手代
事務用品費	24,509	インク代 他
運営費	537,900	看板・横断幕代、Tシャツ代 他
会議費	4,847	27回生、43回生会議費
企画費	262,172	アトラクション、鏡開き酒樽代 他
雑費	0	
同窓会寄付	218,066	同窓会へ寄付
創立100周年記念品	398,736	枡代
支出計	7,040,000	

母校百周年を大同窓会でお祝い

実行委員長　別城　久弥（高43回）

創立百周年となります記念すべき平成二十九年度三池中学校・三池高等学校同窓会を平成二十九年八月十二日（土）にホテルニューガイアオームタガーデンにて開催いたしました。幹事は渡邊信明実行委員長をはじめとする高校二十七回生と私たち高校四十三回生が務めさせていただきました。

今回の同窓会は、同窓生で母校百周年を盛大にお祝いするため、テーマを「お祝いすっバイ、100周年」とさせていただき、お祝いムード満載の同窓会とさせていただきました。また、創立百周年の記念として何かを残したいと考えまして、「旗」と「枡」を作成しました。この「旗」は、同窓会に出席いただいた皆さんに寄せ書きを書いていただきまして、櫪友会館に保存をお願いしましたが、十年、二十年後にはきっと貴重な「旗」となることでしょう。そして「枡」は、同窓会の出席者全員にお配りしまして、皆さんの記念としていただきました。

懇親会においては、オープニングで三池高等学校と大牟田市の百年の歴史を映像で流しまして、その映像に合わせて、高校四十三回生の大野と花岩が生演奏を披露し、同窓生の皆さんにそれぞれの学生時代を思い出していただきながら、母校百年の歴史を感じていただきました。

また、会場には創立百周年記念のパネルを用意しまして、参加された皆さんの記念撮影のご協力をさせていただきました。

このように、今回は百、百、百の同窓会とさせていただきましたが、創立百周年記念の同窓会となったことで、私たちにとっても記念となる同窓会となりました。

今回の同窓会にご支援、ご協力いただきました先生方、同窓会長をはじめとする理事、評議員、事務局の方々、同窓生の皆さまに心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。最後になりますが、今後幹事となられる若い同窓生の皆さんへお願いです。三池高等学校の同窓会は規模も大きく幹事はとても大変です。しかし、大変な分だけ同期の絆は必ず強くなり、あらためて三池高等学校の同窓生でよかったと思うはずです。どうか、今後もこの三池中学・三池高等学校同窓会の伝統を受け継いでいただきますようお願いいたします。

三池中学・高校創立百周年記念式典挙行

去る平成29年11月18日（土）午前10時より本校体育館2Fにおいて、多くの御来賓の御臨席のもと、創立百周年記念式典が挙行されました。その後「櫪ヶ丘から世界へ～先輩から後輩へ贈るメッセージ～」というテーマでパネルディスカッション、場所を移しての祝賀会が行われました。今回は、式典やパネルディスカッションの模様や、前回総会号でお伝えできなかった百周年にちなんだ行事を写真で紹介します。

〔校長式辞抜粋〕

～大正六年「福岡県立三池中学校」として、この大牟田の地に創建されて以来、県南地域の方々からお寄せいただく深い信頼と熱い支援のお蔭をもちまして、「福岡県立三池高等学校」として創立百周年を迎えることができました。（中略）本校には草創期より勤学かつ壮健の若人が集い、先行する内外各処の中学、高校に学びながらもたちまち凌駕せん勢いにて、県南炭都の隆盛にも増して三池の名をとどろかせて参りました。なかでも、開校まもなく勉学及び諸活動において日々励む三中生をして文武両道の先駆けとなし、追って世紀を通じて三高生はその勇姿により皆様方の期待に応え続けて参りました。勉学、体育、文化芸術、社会貢献などのあらゆる領域にわたり、今をもって燦然と輝く金字塔を林立させられた先輩方に続けと、三高健児は心身の鍛錬に励んでおります。（中略）三池中学校、三池高等学校をお導きお支えいただきました関係各位に対しまして深甚なる謝意を表しますとともに、今後も変わらぬ御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。併せまして、次代百年に向かう福岡県立三池高等学校は本邦郷土の確かな安定と繁栄のために尽力することをお誓い申し上げまして式辞といたします。

〔同窓会長式辞抜粋〕

～さて、本校は創立以来、「進取」「至誠」「自治」を校訓として、県南地域における人材育成の任を担って参りました。卒業生は三万四千人に迫り、その「三高健児」の多くが各界各層で妙々たる活躍をしていることは、同窓会としても誇りに思うところであります。創立百周年を迎えた母校に想いを馳せる時、私もこの櫪ヶ丘で学業に励み、部活動に汗を流し、友人と共に青春を謳歌した五十七年前の日々が昨日のように思い出されます。

時代は移り、母校を取り巻く環境も大きく変化しましたが、校歌「蒼穹萬里」は昔と変わらず歌いつがれており、「進取」「至誠」「自治」の校訓も本校教育の核として引き継がれています。そして、何よりも自由闊達な雰囲気の中で文武両道に精一杯打ち込んでいる在校生諸君の姿を見る時、これまで本校で学ばれた方々の努力の結晶が三池高校の伝統となり私達の心の支えになっていることに気づかされます。（中略）

創立百周年記念のキャッチフレーズ「伝統をずっと　変化をもっと」に込められた在校生の思いのとおり、今後もこれまでの伝統を継承して行くとともに、同窓生同士の繋がりを堅くし、次の百年に向けて新たな母校の魅力づくりに皆で力を合わせていきましょう。

パネルディスカッション

パネラー
梅﨑　壽氏　高14回
（東京地下鉄㈱顧問）
上田　清司氏　高19回
（埼玉県知事）
淡輪　敏氏　高22回
（三井化学㈱代表取締役）
西田　計治氏　高28回
（三井金属鉱業㈱代表取締役）
コーディネーター
小宮　恵子氏　高26回
（㈱熊本放送）

三高時代を振り返ってのお話、エピソードの後、生徒へのメッセージをいただいた。

梅﨑　お伝えしたいことは四つ。一つは自分の適性がどこにあるかよく自分で考えること。二つ目は心身ともに健康であること。三つ目は困難な事に立ち向かう力を身につけてほしいということ。最後に何か一つ外国語を習得していただきたいということです。

上田　何事も「やりたい」という思いを持ってやってみること。交流会などで多くの人の知識や経験を聞いたり、読書を通じて、多くのことを知ることが大事。「夢は逃げない、逃がすのは自分」ぜひがんばっていただきたい。

淡輪　いろんな意味でどう自分の幅を広げていくか、自分の殻を破っていくかということが、長い人生にとって非常に大きな意味を持つ。国内だけではやっていけない世界になっているから、国際的に常に視野を広げるスタンスというのが大事です。

西田　「自分が嫌いなものはやらない」ではなくて、いつか自分の人生の中でかかわることがありますから、高校生のうちの勉強としては、広くやっていただきたい。

パネラーの方々へ生徒たちのユニークな質問があり、その後4名の方がそれぞれ「人生の中で大事にしてこられた言葉」を色紙に書いて披露していただいた。

梅﨑　「至誠」社会に出て本当に必要なものは誠実さだと思うから。

上田　「希望」希望を持っていれば何でもできるという思いがある。

淡輪　「胆識」知識・見識だけでは不十分。実際に行動に移すというのは、勇気・胆力が必要になってくる。

西田　「着眼大局　着手小局」後半の着手小局の部分が特に好きです。自分たちの人生は「着手小局」の積み上げなわけです。ひとつひとつやっていかないと先はないのですから。

百周年記念碑建立

【主な百周年記念事業】

5月　百周年記念招待野球試合（対 三池工業）
6月　百周年記念大運動会
8月　百周年記念大同窓会
9月　百周年記念三高祭（総合文化発表会）
　　櫪友美術展
10月　三高スポーツフェスタ
　　サッカー（対 三池工業）バレーボール女子（対 柳川）
　　剣道（対 明善）　　ハンドボール男子（対 明善）
11月　百周年記念碑建立
　　百周年記念式典・パネルディスカッション・祝賀会
○百周年キャッチフレーズ「伝統をもっと　変化をもっと」
○百周年記念ロゴデザイン「三池百年」
○三池百周年記念カルタ
○スクールゆるキャラ「けんじくん」着ぐるみ作成
○創立百周年記念誌発行

百周年式典の記念品となった百周年記念カルタ

本校職員
田中智子（高49回）作
百周年記念ロゴ

三高祭での「けんじくん」披露

～新評議員挨拶～
母校に貢献できることを光栄に思う

高70回 評議員 松田斗夢

春まだ浅く、風に冷たさが残る今日この頃、新たに198名が卒業を迎えました。三池高校同窓会第70回評議員を務めさせていただけることとなり、卒業してもなおこのような形で母校に貢献できることを光栄に思います。

私たち70回生は同窓会の皆様に多くのご支援をいただきました。大運動会では「蒼穹萬里」Tシャツを作っていただき、生徒全員が揃いのTシャツを着ることで、より固い絆を結ぶことができました。また、創立百周年記念式典のパネルディスカッションでは、卒業生であり様々な分野でご活躍されている先輩方に高校時代のエピソードや受験のアドバイスなどを聞かせていただくことで、自分の夢や目標を追いかけるための大きなモチベーションを与えていただきました。

三池高校百周年目の最高学年として、多くの方々の期待を背負い入学した私たちは、百年目の三池高校を今まで以上のものにするために努力をしてきました。どうすれば学校を盛り上げることができるのか分からなかった頼りない私達に、同窓会の先輩方は様々な形でサポートしてくださいました。心から感謝申し上げるとともに、先輩方のように頼られる同窓会の一員になりたいと思っています。

これからは後輩たちを支える立場になります。これまで支えていただいた分、母校への恩返しに尽力いたします。そして三池高校百年の素晴らしい歴史とともに自分たちが築いた新しい魅力も広く発信しながら、積極的に先輩方と交流し、母校三池高校をより深く知りたいと願っています。これからもどうぞよろしくお願いします。

第28回熊本櫪友会総会報告
先輩方から学ぶ

末田夕貴（高63回）

平成29年11月4日（土）熊本市中央区手取本町の鶴屋百貨店東館7階のカーネーションサロンにおいて第28回熊本櫪友会総会・懇親会が開催されました。ご来賓として大牟田より永利新一同窓会会長および西田智学校長、立石敬二事務局長をはじめ9名の方々をお迎えし、総勢45名での歓談となりました。

総会に先立ち、池田義一さん（高7回、（株）イメージ・クリエイティブ・センターPOEM取締役会長）から卓話として、紆余曲折を経て独立後来熊され、現在は地方の産業と映像文化を含む文化振興に日々奮迅されているという興味深いご経歴を伺いました。

総会・懇親会は奥園栄純さん（高34回）の司会で、白糸薫雄さん（高7回）の開会宣言に始まり、今泉裕さん（高19回）の指揮で校歌斉唱、城野昌義熊本櫪友会会長（高18回）から歓迎の挨拶がありました。城野会長の挨拶の中で熊本地震被災の方へ28年度本校同窓会「熊本地震義援金」が送られたことの報告とお礼の言葉を伝えられました。熊本地震からの復興は進んでいる反面、場所によっては未だに大変な暮らしを強いられています。このような温かいご支援に熊本櫪友会会員として感謝の念に堪えません。

その後、永利同窓会会長、西田学校長からご挨拶を賜り、六田嘉忠さん（高27回）の乾杯で懇親会に入りました。

しばらくの歓談の後、30年度同窓会実行委員長挨拶を賜り、恒例の池田義一さん（高7回）司会による「初めまして、お久しぶり」で初参加の方などのご紹介がありました。その後「○×クイズ」で歴史や豆知識の問題に会場が大いに盛り上がり、今泉さん（高19回）の指揮で唱歌「ふるさと」、土井義周さん（高41回）の万歳三唱で来年の再会を誓い閉会となりました。

素晴らしい先輩方とお話できるこのような貴重な機会を設けていただき、本校同窓会の皆様方、及び熊本櫪友会企画準備委員の方々に厚く御礼申し上げます。

同窓会入会式

次第

一　開式の辞
二　同窓会入会歓迎の辞
三　同窓会役員紹介
四　各クラス世話係及び新評議員紹介
五　新評議員入会の挨拶
六　閉式の辞

各クラス世話係

（　）は担任の先生

一組　松田斗夢（丸山野　勲）
二組　津波古愛望（家成賢太郎）
三組　徳永有輝（石井　康寛）
四組　安井爽真（甲木　秀一）
五組　中島弘真（坂本　和代）

第28回関西櫪友会総会報告
万歳三唱で最高潮に達した総会

鹿井徹（高17回）

第二十八回関西櫪友会総会・懇親会を平成二十九年十月七日（土）に大阪肥後橋の中華料理店「徐園」で開催しました。来賓として永利同窓会会長、西田学校長、永松同窓会副会長、立石同窓会事務局長をお迎えし、また北島同窓会実行委員の参加もあり、総勢八十五名、最年長は高校二回、最年少は高校六十四回でした。高校十七回大曲さんの司会のもと、松尾関西櫪友会会長の挨拶で総会が始まり、引き続き、坂本関西櫪友会事務局長より会員数の推移や会計報告などの事務局報告がなされました。来賓の挨拶の中で、永利同窓会会長からは、八月にオームタガーデンで開催された百周年の行事の総会の事が紹介されました。西田学校長からは、人口減少や少子化で生徒の減少や運動部、文化部の活動など母校の現状をご紹介頂きました。

最後に、北島総会実行委員から、三十年度同窓会の案内があり総会を終了。引き続き高校二回大嵜さんの音頭で全員で乾杯、懇親会の開始。しばらく歓談の後、永松同窓会副会長の大牟田便り、立石同窓会事務局長の三池高校便りがありました。しばらく歓談の後、各学年出席者の紹介がありました。サプライズとしてドイツから帰って来られた前関西櫪友会会長の佐野さんの話があり、これから関西櫪友会にずっと出席できますとのことです。

高校二十一回山田さんよりゆるキャラグランプリがあるので、大牟田市のジャー坊を投票して下さい、とのことです。

立石同窓会事務局長より、三池高校百周年を記念して、蒼穹萬里の文字がはいった、Tシャツを作りましたと紹介がありました。次に校歌斉唱がありました。次に高校六十四回山田さんの万歳三唱で最高潮に達しました。来年も宜しくお願いします。最後に坂本関西櫪友会副会長より、閉会の辞があり、終了しました。

各櫪友会総会のご案内

関東櫪友会（東京都）
平成30年5月26日（土）13時～
東　京／アルカディア市ヶ谷
事務局　中村俊雄（高23回）
TEL　047-432-0014

福岡櫪友会（福岡市）
平成30年6月2日（土）16時～
福　岡／平和楼天神本店
事務局　吉原政秀（高18回）
TEL　092-923-0207

関西櫪友会（大阪市）
平成30年10月6日（土）12時～
大　阪／徐園
事務局　坂本博己（高16回）
TEL　0797-61-1692

熊本櫪友会（熊本市）
平成30年11月3日（土）18時～
熊　本／鶴屋百貨店カーネーションサロン
事務局　堀　義親（高18回）
TEL　096-326-8658

【同期会報告】

国宝迎賓館赤坂離宮の見学を行う

金﨑重信（高11回）

平成二十九年十一月十一日（土）「東京といち会」の例会を開催いたしました。三池高校第十一回卒の私共にとっては、出掛ける時には元気でも会がはねて帰りには足元を気にする年齢になりましたので、受付は十一時三十分から行い、懇談を十二時三十分までとし、宴会の午餐をそれからと致しました。

長い歴史を持つ「といち会」は以前から有志の方々の意向で進められてまいりましたがこの度関東櫪友会の学年幹事を務めてまいりました花増君が辞退されましたので、同期会として後任を決める必要から懇談の席を総会とし、選任を行いました。後任は会長の中島光子さんが皆さん方の意見で纏まり決定いたしました。関東櫪友会に於かれましては今後宜しくお願いします。

本会の会場は東京の中心霞が関ビル最上階三十五階の東海クラブで、大きな楕円テーブルを出席者二十名が対面できるように設えた結果、お互いが顔を見ながらの和気藹々とした午餐会となり、一層の親睦を深めることが出来たように思えます。

出席者は遠く大牟田市から、また名古屋の愛西市から例年楽しみに参加される方を数えて、関東一円から二十名が東京の高みで快晴の空と変わり行く大都会の風景を楽しみました。午餐はフランス料理風の会席でお楽しみ頂きました。この席には既に参加通知済みで、いつも明るい笑顔と素敵な歌声で会をもてなして下さいました世話役の森頌子さんが、直前にご逝去されました事を悼んで黙祷を捧げご冥福をお祈り致しました。

最近の風潮では喜寿を迎えても余り高齢とは思われず、結構達者な方が多く見受けられますが、健康に一層留意する事こそ長生きの秘訣ではないでしょうか。

今回の東京といち会で最後に感じたことはこれまでと少々趣が異なって「また来年ね」と言う声が多かったように見受けられました。大変嬉しい事だと思います。ただ宴会で大騒ぎをするのでなく、物静かに楽しむ事の大切さを年と共に感じ入る次第です。

会では例年同様午前の街歩きを企画していましたが、今回は都合により前倒しで実行する事となり「国宝迎賓館赤坂離宮」を見学いたしました。従って希望者は限定されましたが、他会の企画と合併行事が実現出来ましたので参加者には素晴らしいチャンスを楽しんで頂く事が出来ました。

東京といち会の皆様がいつまでも御健壮であらん事を念じてご報告と致します。

在校生へのメッセージ

「校歌を忘れずに」

三井金属鉱業株式会社
代表取締役社長　西田計治（高28回）

三池高校創立百周年、大牟田市市制施行百周年、という歴史の節目を体感して、卒業式を迎えられる3年生の皆さん、ご家族ご親族の皆様、誠におめでとうございます。

私も昨年11月行われました三池高校創立百周年記念式典に陪席の栄に浴し、在校生の皆さんと同じ感激、感動を共有することができ嬉しい限りでした。

「卒業生へのメッセージ」ということですが、「校歌を忘れずに」と申し上げたい。皆さんは、これからの人生で、感動、感激、挫折、色々なことを経験し成長してゆきます。困った時、迷った時、そんな時に、皆さんの支えになるのは、友人や親族であり、自分がそれまで学んだこと体験したことになりますが、加えて、「蒼穹万里天翔る…」と歌ってみて下さい。志高かった高校時代を思い出し気分転換してみて下さい。元気でますよ、試してみて下さい。

皆さんが人生を謳歌する近未来は、世界の人口は70億人から100億人へ増え、日本の人口は1億2千万人から1億人を切る時代です。日本は天然資源に恵まれていませんから、おのずと、諸外国との関係が深くなり、グローバル化、ダイバシティの流れが加速してゆきます。でも大丈夫です、これから山あり谷あり起伏はあれども、日本は個人一人一人が活躍できる人財の国です。「校歌を忘れずに」乗り越えて行きましょう。

業界のPRで恐縮ですが、写真は、東京千代田区北の丸公園の科学技術館4Fにあります Metal Factory（メタル・ファクトリー）、非鉄金属の紹介をしているブースでのものです。2020年東京オリンピックでの金銀銅のメダルを日本国内にあるリサイクルで賄おうという活動も行われています。

皆さん、卒業後は、郷里を想いつつ、日本のみならず世界に目を向け、資源に恵まれない日本を支える人財として活躍されんことを期待し贈る言葉とさせて頂きます。

在校生へのメッセージ

「三池」と共に家業も100年

オギハラ食品株式会社
代表取締役社長　荻原浩幸（高43回）

昨年は我が母校の創立百周年記念の大同窓会が盛会の内に無事終了し、担当学年としては先ずはほっとしているところです。当初はこのような歴史的大役が偶然にも回って来た事にプレッシャーを感じていたというのが正直な所ですが、振り返りますと準備期間は同級生と顔を合わせる楽しさや、場所を移しての実行委員会（飲み会）でも毎回盛り上がり、大いにアイディアや意見が出たりで、次第に結束力と士気が醸成されていった様な感じがしました。

大同窓会の開催にあたっては、別城実行委員長の下、多くの同期生の献身的な参加と、それを支えて下さった諸先輩方、また全国からご参加頂いた全ての同窓生の皆様のご協力ご支援があってこその大成功であったと深く感謝しております。

さて私は卒業後大牟田を離れ、学生時代と会社勤め、海外滞在の経験後、家業を継ぐために帰郷しました。その際、故郷を離れた経験を活かし、地元を客観視することで、その良い所も、そうでない所も、全てを強みとして商売に活かせないかと考える様にしました。

家業は元々漬物食品製造卸業ですが、私が継承し始めた頃から高菜漬製造に特化した専業メーカーに舵を切りました。その中で当然原料となる高菜についても仕事の中で掘り下げていくと、品種名が三池高菜と呼ばれるものでした。この品種は歴史的に大牟田の三池の地で土着し育まれ、今では九州全域で2万トンも栽培されています。「三池高菜」の原点である本場の地ここ大牟田で、そして三池の地の雇用で商品づくりが出来ることは、この上ない幸せと使命感を感じます。

関東や関西での営業では、必ずと言って良いほど「三池高菜の本場でありますから、私の出身高校名も三池高校です」とついプレゼンしてしまいます。これは競合メーカーには出来ない唯一無二の営業決め台詞と自負しています。

昨年、我が社も母校百周年と同様に創業百年を迎えたわけですが、母校の創立百周年のキャッチフレーズは「伝統をずっと、変化をもっと」であります。偶然ですが、我が社も創業百年を機に経営理念を「伝統を守り、革新を続け、食文化に貢献する」と刷新致しました。「三池高校」とは高校時代から家業に通じるご縁があったものと自分でも感心しております。

母校の新しい歴史を刻む101歩目、"平成"最後の同窓会の役割を迎えて

北島康彦（高44回）

2017年、創立100周年という記念の年を終え、新たなる門出を迎えた2018年の我が母校。101年目というある意味記念すべき年に、我々第44回生は大同窓会の当番回の役割を賜りまして、同期生一同伝統と歴史の重みを感じ、改めて身が引き締まる思いです。

昨年の同窓会実行委員の第27回卒の渡邊信明さん、第43回卒の別城久弥さん、1年間大変お疲れ様でした。永利同窓会会長より2017年8月12日に同窓会実行委員の委嘱状を、襷を諸先輩方より継承し、これから同窓会の成功へ向け、西田校長先生をはじめ、理事、評議員、同窓会事務局、そして何より同窓生の皆様におかれましては、ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

さて、我々が過ごした高校生活を振り返ってみますと、櫪ヶ丘の正門をくぐったのは、桜舞う春、1989年つまり平成元年で"平成初"の入学生でした。元号は"昭和"から"平成"へ変わり、消費税が初めて導入され、ベルリンの壁崩壊など国内外でも激動の年でした。在学中は天翔館や蒼穹館などが整備され、とても有意義な高校生活を過ごさせて頂きました。私自身として印象深い思い出は、校歌にも謳われております雲仙普賢岳の噴火被害で大牟田でも連日降灰がありました。6月の大運動会開催時に義援金を呼びかけ、父兄、保護者、現役生から多数の賛同を頂き大牟田市役所を通じて、島原市へ募金しましたことを感慨深く、回想しております。

そして30年の時を経て2018年の大同窓会は、"平成"開催の同窓会としては最後になる見込みです。"平成初"の入学生が"平成最後"を飾る大同窓会を主催させて頂き、そして母校は次の100年に向けての新たな1歩目のスタートを切る記念の年、昨年の創立100周年に負けず、劣らず皆様の記憶に残る盛大な総会に出来れば幸いです。

2017年の我々第44回卒業生の活動としては、第一に、卒業生総数約34、000人を超える母校の一員として、次年度当番回として各地の櫪友会総会にも積極的に同期生と参加致し、PR招致活動を実施して参りました。第二に、2018年大同窓会を成功させるべく、8月12日に同期会を開催し交流を深めました。12月29日にも再度同期会を開催し、当時の恩師の先生方も多数ご参加頂き、同期生共々当時の思い出話に花を咲かせて2018年8月11日の大同窓会に向けて結束を確認しました。現在は、諸先輩方のご意見を頂きながら、同期生一同協力し少しずつ準備を行っているところです。

最後になりますが、母校のさらなる発展と福岡県立三池高等学校同窓会の今後益々のご発展を祈念しまして、多くの同窓生の皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

訃報

▽松尾　浩也（旧職員・中25回）　平成29年12月1日逝去
▽佐藤　勉（旧職員）　平成29年10月9日逝去
▽猿渡　孝（中19回）　平成28年12月1日逝去
▽國盛順太郎（中23回）　平成28年5月15日逝去
▽永吉　典義（中23回）　平成27年11月16日逝去
▽江口　真之（中24回）　平成29年2月19日逝去
▽脇中　敏男（中24回）　平成27年4月30日逝去
▽江﨑　慶典（中26回）　平成28年12月29日逝去
▽三木　淳憲（中26回）　平成29年9月28日逝去
▽垂水　清宏（中27回）　平成29年7月31日逝去
▽中島　巌（中27回）　平成27年9月9日逝去
▽中島　聖美（中27回）　平成27年11月　逝去
▽遠藤　勝（高1回）　平成29年7月6日逝去
▽原田　康宏（高1回）　平成29年12月20日逝去
▽山﨑　義孝（高1回）　平成29年1月14日逝去
▽田中　英世（高2回）　平成29年2月24日逝去
▽堀江　建（高2回）　平成29年11月27日逝去
▽石井　保徳（高3回）　平成29年2月3日逝去
▽井上　聰明（高4回）　平成27年11月　逝去
▽片山　糺（高4回）　平成27年8月14日逝去
▽池松　壽郎（高5回）　平成29年8月29日逝去
▽西田　岱己（高5回）　平成29年10月13日逝去
▽上野　嘉枝（高9回）　平成29年7月15日逝去
▽丹羽　敬明（高9回）　平成28年5月12日逝去
▽伊藤　英徳（高13回）　平成29年12月7日逝去
▽黒肥地敏博（高13回）　平成30年1月21日逝去
▽立屋敷　靖（高13回）　平成30年1月19日逝去
▽椛島竹千代（高15回）　平成29年7月28日逝去
▽中橋　芳治（高16回）　平成29年4月22日逝去
▽渡辺　尚己（高16回）　平成29年11月25日逝去
▽安藤　俊治（高17回）　平成29年9月18日逝去
▽羽方　陽一（高17回）　平成29年8月7日逝去
▽森　和夫（高19回）　平成29年11月11日逝去
▽河村　賢治（高21回）　平成29年12月22日逝去

新会員の皆さん、総会であいましょう!!
平成30年度
三池中学校・三池高等学校
同窓会総会
●8月11日(土)
総　会　17時30分開会
懇親会　18時30分開会
●ホテルニューガイアオームタガーデン
●当番　高28回・高44回

学園だより

全国大会報告

全国高校総体400mハードル出場

いつか恩返しを

3年4組　野田啓介

私は、山形県天童市で行われた、平成29年度インターハイの400mハードルに出場しました。実はインターハイ予選の県大会や北部九州大会では不本意な記録に終わり、両大会ともに優勝することができませんでした。インターハイ本番まで必死に練習しましたが、結果は準決勝3着で、決勝進出まであと0・1秒足りませんでした。

その悔しさをバネに優勝するぞという強い気持ちで、U20日本陸上競技選手権大会にも出場しました。結果は8位入賞で、全国大会の表彰台に立つことができたのは、非常に嬉しかったのですが、心のどこかで「これではまだ恩返しができていない」という気持ちがありました。

私が高校に入学して陸上部に入部して以来、怪我が多く弱気になってしまう自分を、常に支え助けてくださったのは、顧問の松藤先生でした。記録が伸びず悩んでいる時は一緒に原因を考え解決策を見つけてくださいました。怪我で走ることができない時は専門の病院を紹介してくださったり、時には早く治るように「酸素カプセル」に連れて行っていただいたこともあります。この時、治療代を払おうとする私に先生は「出世払いにしておくよ」と言って私の分まで払ってくださったのです。その先生の言葉に、私に対する先生の大きな夢や思いを感じ、その帰り道「全国大会で必ず優勝するぞ」という目標を初めて意識しました。そんな松藤先生への恩返しは優勝しかないと思い、毎日必死に練習に励みました。

結局今回はその目標がかないませんでしたが、この二つの全国大会までの道のりの中で、負けた時の悔しさや、勝った時の喜び、仲間と一緒に同じ目標に向かって努力することのすばらしさなど、多くのことを学ぶことができました。今後大学や社会でまた新しい夢と目標を見つけて、日本だけでなく世界で活躍できる人間になり、いろんな人に恩返しをしたいと思っています。この櫪ヶ丘に立つ三池高校で学び、人と出会い、成長することができた3年間に本当に感謝しています。同窓会の皆様のご支援本当にありがとうございました。

全国大会報告

全国高等学校総合文化祭書道部門出場

目標を達成した喜び

3年1組　霍見浩志

私は八月に宮城県で行われた高校総合文化祭の全国大会に出場しました。全国大会に出場することは、私の高校生活における大きな「目標」でありました。高校入学当初からこの目標に向かい努力を重ねてきましたが、三池高校創立百周年という記念すべき年に達成することができ、たいへん嬉しく思っています。

私は今回、漢字仮名交じりの書を創作しました。漢字だけのものとは違い、自分のイメージに沿って文字を表現することができますが、少しでもバランスを崩してしまうと、作品を台無しにしてしまう書でもあります。したがって、参考となる作品が少なく、どのような構成で書くのがよいかと、苦しい試行錯誤を繰り返しました。しかし、何回も書き込んでいくうちに、流れるような書の美しさに魅了され、時間が経つのを忘れてしまうほどでした。本番では練習の成果を出し、何より心から楽しんで書くことができました。

私がこのように書道というものを楽しめたのは、先生から教わった技術や、部員とともに切磋琢磨した書道部での活動のおかげです。現在、書道部では、書道パフォーマンスや小学生への書道教室の開催など、今までにない試みを行っています。後輩たちにはこれからも新しいことに恐れることなく挑戦し、書道というものを心から楽しみ、自分の書を表現することに貪欲になってほしいと思います。

最後になりますが、全国大会出場の折には、同窓会の皆様に多大なご支援をいただき、本当にありがとうございました。心から感謝申しあげます。

全国大会報告

全国高等学校総合文化祭日本音楽部門出場

全国大会を通して深まった絆

三年四組　中村夏鈴

私たち邦楽部は昨年の広島大会に引き続き、2年連続で全国総合文化祭の全国大会に出場しました。本年度は8月に宮城県多賀城市で開催されました。

4月に1年生の新入部員7名を迎え、2年生8名、3年生4名の計19名の大所帯の部となりましたが、講師の寺田先生の熱心なご指導のもと、一生懸命練習に励んできました。1年生にとっては、初舞台となる全国大会までわずか4ヶ月という限られた短い期間で、基礎基本を習得した後、一息つく間もなく大会曲の練習に入るというハードスケジュールでした。3年生も、夕補習を受けてから自分たちの練習を行い、寺田先生が不在の時は後輩たちの指導にかかりきりになったりと、身体的にも精神的にもたいへん忙しい日々だったと思い出されます。

しかし、そんな日々だったからこそ一日一日の練習を大事にできたし、何より部員同士がとことん話し合い、コミュニケーションをとることで、以前よりもっと部員全員の絆が深まったのではないかと思うのです。そして、全国大会本番では、一人ひとりが互いの音を聞きあい、私たちらしさを重視した個性あふれる演奏ができたのではないかと満足しています。

このような恵まれた環境の中で演奏ができたのも、顧問の下村先生や竹下先生、家族の協力、そして同窓会の皆様のご支援、ご協力があったからです。この場をお借りし、部員一同、心より深く感謝申し上げます。

百周年記念式典とパネルディスカッションの合間に全国大会で演奏した曲を披露。来賓の方々から賞賛の声があがった。

―平成二十九年 秋の叙勲―

祝 眞次

瑞宝単光章（消防功労）

義彦 氏（高十五回）

「三池奨学会」寄付者御芳名

（平成29年7月～平成30年1月）

高校7回　末藤　弘道
高校7回　久保　友子
高校9回　石堂　寛子
高校12回　永利　新一
高校14回　圓佛　英輔
高校15回　藤木　雅聡
高校16回　若木　康夫
高校19回　平山　基裕
高校20回　永井　徳幸
高校28回　匿名希望
高校28回　山本　弘子
高校29回　高田　朋彦
高校31回　匿名希望
高校35回　山下　泰史

（敬称略）

ご寄付ありがとうございます。

「三池奨学会」寄付のお願い

寄付の振込先は、左記の通りです。

記

1ゆうちょ銀行
口座番号
（振込用紙利用の場合）
01730-3-153482
（ATM利用の場合）
01730-3-153482
口座名称　三池奨学金
＊他行からの振り込みの場合
店名　179店
預金種目　当座
口座番号　0053482
2福岡銀行
店名　大牟田支店（691）
口座種類　普通預金
口座番号　2569932
口座名義　三池奨学会
会長 永利　新一
（ナガトシシンイチ）

※なお、ご寄付は一口二〇〇〇円でお願いします。（何口でも結構です。）匿名をご希望の方やご不明の点は、同窓会事務局までお問い合わせください。

（TEL 0944-57-2600）

また他行及び福岡銀行からの振り込みの際もご連絡をお願い申し上げます。

櫪ヶ丘

百周年記念行事も一段落し、その締めくくりとして「創立百周年記念誌」が卒業式の日に合わせて刊行され、卒業アルバムとともに、卒業生達の思い出に加わる。この三年間様々な記念行事に携わってくれた卒業生は、改めて「三池百年」の伝統をかみしめてくれるだろう。

記念誌は約二百頁。記念式典の模様やこの記念誌のために寄稿していただいた文章、これまでの新聞と周年誌の記事や写真などが百年間の年表とともに編纂してあり、全国大会出場者一覧や、大同窓会ポスター一覧なども付けられ、なかなか賑やかな仕上がりになっているようだ。

大牟田市も市制百年。三池高校の変遷は、そのまま大牟田市の変遷でもある。人口減、炭鉱閉山などの影響は小さくない。しかしこの百年のどの頁をめくっても、一瞬一瞬に光り輝いている生徒達がいたことを私達は誇りに思っていい。百年目に在籍していた幸運の600名も、この四月に新しく入学してくる、まだ見ぬ百一年目の生徒も、きっと「三池中学・三池高校魂」を引き継いでくれるはずだ。私達は大いに期待していい。

スナック
三池
中島　光子（高11回）
東京都中央区銀座8-4-4　村喜ビルB2
TEL.(03) 3571-8044

全国大会報告

全国高等学校総合文化祭弁論部門第三位

ベストの弁論を目指して

二年三組　西山和那

私は八月二日から三日にかけて、宮城県で行われた高文祭の弁論部門に、福岡県代表として出場しました。初めは、「総合的な学習の時間」で行われた、校内スピーチコンテストでの発表でした。クラス全員の発表の後、クラス代表に選ばれ、その後の学年コンテストでも1位になり、弁論の県大会に出場することになりました。私は、その時点でいい経験ができたなと思っていましたが、そこで2位になり、2ケ月後の九州大会でも2位、全国大会への推薦をいただいた時は、嬉しさよりも驚きの方が大きかったというのが正直な所です。また私は邦楽部に所属しているのですが、邦楽部としても2年連続の全国大会出場がすでに決定しており、両立ができるのだろうかという不安もありました。

しかし、全国大会までの一ヶ月間、毎日放課後に1回だけ弁論を練習し、その後邦楽部の練習に行くというきびきびしたルーティーンが私にはとても合っていて、全国大会前にはどちらの大会でも自分のベストを尽くそうという気持ちが出来ていました。

本番当日は、邦楽部の部員たちが仙台観光を取りやめてわざわざ東松島の会場まで応援に来てくれました。福岡から祖父や父など家族も来てくれていて、いつもの何倍も緊張しましたが、いままで練習してきた中で、私らしいベストの弁論ができたと思います。私は「普通は特別」という題で、「何気ない貴重な毎日を忘れないように全力で生きていきたい」と弁論を行いました。その弁論同様に、今回も全力で取り組みました。結果は思いがけなく全体の3位で表彰され三池高校百周年記念に花を添えることができ、また何よりこの全国大会という大きな経験ができた事をとてもうれしく思います。

私がこのような経験ができたのは、指導してくださった先生をはじめ、邦楽部の仲間たち、横断幕まで作って応援してくださった地域の方々、援助していただいた同窓会の皆様のおかげです。心から感謝しています。この経験と感謝の気持ちを忘れずに、これからもっと成長していきたいと思います。

西山さん(右)と松尾さん(左)の市長表敬訪問　有明新報社提供

全国大会報告

全国高等学校総合文化祭写真部門奨励賞

私らしい写真を撮り続けたい

2年3組　松尾　安沙比

私は平成29年度の高校総合文化祭の全国大会に、写真部門の福岡県代表として出場しました。全国大会出場が決まったのは1年生の秋頃でしたが、実は高校生になるまでは、写真を撮る機会などあまりありませんでした。写真部に入部してからはその魅力に目覚め、積極的に写真を撮るようになり、三高バッグには愛用のデジカメをいつも入れています。

今回の大会で私が出展した作品は、私が兼部している吹奏楽部の友達と部活帰りに「高専ダゴ」に行った時に撮影したものです。その時、本当にお腹がすいていて、お店に入って注文するまでのスピードがいつになくテンポよくスムーズで、その様子がいかにも私たちらしく面白いと感じられたので、食べ終わるまでの一連の様子をカメラにおさめました。

まさかこの時撮った写真が賞をいただくとは思っていなかったので、顧問の先生から全国大会の推薦に選ばれたことを聞いた時は本当に驚きました。被写体になってくれた友達も驚いていたけれど、最終的には喜んでくれて、私も嬉しくなりました。

仙台で行われた全国大会の会場では、他校の高校生と触れ合う時間があり、皆それぞれ違った観点から写真を撮っていることを知り、これが写真の面白さなのだとあらためて納得し感動しました。この全国大会でも、あの「高専ダゴ」の写真は、「奨励賞」に選ばれ、三池高校の先生方や生徒の皆さん、家族、そして大会出場の支援をしていただいた同窓会の方々にも、良い報告が出来て嬉しく思います。

私の写真部員としての活動は残り少ないですが、今まで私を支えてくださった皆様への感謝の気持ちを大切に、これからも「私らしさ」全開の写真を撮り続けていきたいです。

全国大会報告

全国高等学校総合文化祭美術・工芸部門出場

一人では諦めていた

二年四組　森　和奏

全国大会に出場が決まったのは、偏に周囲の支えによるものです。少し日が経ち、客観的に自分を振り返るようになった今、そのことをなお一層強く感じます。

「こんな絵を描きたい」そう話した時、まだぼんやりとしていたイメージが明確になるまで徹底して話に付き合ってくださったのは、顧問の宮本先生。「写真が必要だ。撮らなければ」と考えた時、何十枚もの紙の短冊を天井から吊り下げ、その上撮影まで手伝ってくれたのは美術部の先輩方や同級生。「絵の具とキャンバスが欲しい」と言った時、用意してくれた学校、「本当にこれでいいのか」と呟いた時、背中を押してくれた級友、「もうやだ。疲れた」と絵筆を投げ出した時、支えてくれたのは家族でした。

何度も絵を描き上げることを諦めました。描いていて納得がいかずに部活動に行かなかった日もあったし、イライラが募り塗り潰した画面を前に後悔することも一度や二度ではなく、自分でやりだしたことなのに嫌だと思いながら描いた日もありました。生来怠け者で何事も中途半端になりがちな私が、それでもなんとか描き上げられたのは、出来上がっていく絵のいたる所に誰かが手伝ってくれた跡と、そこに込められた皆の期待を見たからにほかなりません。自分の才能のなさに自己嫌悪に陥っている時、「大丈夫、出来る出来る」と皆が言ってくれるのです。「皆が言うのだから、もうちょっと頑張ろう」そんなふうに思って、また絵に向かいました。そして、「絵」は仕上がりました。

タイトルは「明日から本気出すと私は昨日も言っていたのだ」。地面に座り込むようにして無駄に過ごした日々に埋もれていく私自身を描きました。情けない姿の自画像ですが、あのとき私の正直な思いでした。

出品してしばらくして返ってきた結果は、全国大会推薦というものでした。とても嬉しくて、その日は家に帰ってもずっと浮かれっぱなしでした。一年後の昨年八月に、宮城県で行われた総文祭では、同じ高校生から刺激を受け、また自信も得ました。描き上げることが出来て本当によかったと思います。一人では諦めていました。賞もいただくことはなかったでしょう。このような経験をさせていただいた先生方や友人、家族、ご支援いただいた同窓会の皆様には、本当に感謝の念でいっぱいです。

活躍する三高生

部活動等報告（県大会以上）

平成29年8月から平成30年1月まで

全国大会出場

陸上競技部
日本ジュニア陸上選手権大会
個人・男子400mH 8位　3年　野田　啓介

邦楽部
第41回全国高等学校総合文化祭日本音楽部門
3年　中村夏鈴
3年　彌永歩
2年　吉田彩乃
2年　山田和那
2年　西田真
2年　横里奏
2年　中花仁
1年　泉美
1年　猿きなり
1年　高口渡由梨佳
吉冨夢美
1年　塚本成奈
1年　永江彩夏
1年　江崎穂
2年　前原瑠菜
2年　北原亜美
2年　中嶋瑠依
2年　緒方行昂
3年　松尾明音
3年　岩屋紀香

美術部
第41回全国高等学校総合文化祭美術・工芸部門　2年　森　和奏

写真部
第41回全国高等学校総合文化祭写真部門　奨励賞　2年　松尾安沙比

書道部
第41回全国高等学校総合文化祭書道部門　3年　霍見　浩志

国語科（弁論）
第41回全国高等学校総合文化祭弁論部門　優秀賞　2年　西山　和那

九州大会出場

陸上競技部
全九州高等学校新人陸上競技大会
個人・男子400mH　2年　辛川　涼眸　3位
個人・女子800m　1年　堀　優理子　7位

総合部
全九州高等学校選手権新人水泳競技大会
男子50m背泳ぎ　1年　辻　泰成　1位

県大会出場

陸上競技部
高体連新人大会南部ブロック大会
個人・男子100m　2年　辛川　涼眸　8位
個人・男子400m　2年　辛川　涼眸　7位
個人・男子400m　2年　平島　拓実　7位
個人・男子400mH　2年　辛川　涼眸　2位
〃
個人・男子300　1年　柿原　詩音
個人・男子100　1年　SC　純希
2年　平島拓実　160　1年　長　8位
個人・男子100　1年　SC　純希
2年　石松龍治実　200R　2年　坂井晃太　6位
個人・男子走高跳　2年　辛川　涼眸
個人・男子三段跳　2年　城門　太一　4位
個人・女子800m　1年　堀　優理子
個人・男子7位　水野　皓太
平成29年度新人駅伝南部ブロック大会1年3位　山下　広夢
男子優勝　2年　森　和奏

総合部
平成29年度新人水泳競技大会
男子50m背泳ぎ　1位　1年　辻　泰成

ハンドボール部
平成29年度福岡県高等学校
福岡県高等学校ハンドボール選手権大会
男子・女子ベスト8

ソフトテニス部
平成29年度福岡県高等学校
ソフトテニス新人大会南部ブロック予選会
男子個人戦ベスト8　2年　植田　星志　2年　永江　洸貴

邦楽部
平成29年度第32回福岡県高等学校総合文化祭
日本音楽部門　県大会
最優秀賞

美術部
平成29年度第32回福岡県高等学校総合文化祭美術・工芸部門　県大会
絵画部門　全国大会推薦
1年　甲斐田　菜月
2年　甲斐田　森　和奏
〃
〃
平成29年度第32回高文連筑後地区高等学校美術・工芸展
絵画部門　特選　3年　森　水永　早紀
2年　森　和奏
1年　甲斐田　菜月

写真部
平成29年度第32回福岡県高等学校総合文化祭写真部門　県大会
写真部門　入選　2年　北　古賀莉衣永
特選　2年　彩乃
平成29年度第1回九州総文祭県予選写真部門　佳作　2点
2年　松尾　安沙比

書道部
第32回高文連福岡県高等学校総合文化祭書道部門　特選　2年　奥苑　瑞希
特選　2年　持永　明香
1年　佐藤実乃里

コーラス部
平成29年度第32回高文連筑後地区音楽会合唱部門　混声合唱　最優秀賞

国語科
第37回全国豊かな海作り大会作文コンクール　水産庁長官賞　2年　仲子　陽香
入選　2年　増田　塔夜
第63回青少年読書感想文全国コンクール　県内審査　2年　藤木　尊大
〃
〃
第19回高校生小論文コンクール　奨励賞　2年　西川　実璃
1年　武藤　彩花
白秋祭献詩第二席　1年　森山　沙織

総合部
平成29年度福岡県高等学校選手権
男子　1年　藤　松　清　優　樹
2年　吉　真　真　聖
女子　1区　1年　藤木　真剛
2区　2年　松下　優聖
3区　1年　長清　純瑠
4区　1年　長木　純希
2位　1区間賞　1年　藤木　真剛
2区間賞　2年　松下　優聖
3区間賞　1年　清　純瑠
4区間賞　1年　木下　剛瑠
平成29年度ブロック大会　7位　1年　稲田　有紀
2年　松浦　緋里
1年　堀内　優理子
2年　田　まひろ
1年　伊東　猿渡
2年　東　柚介